

# 入笠山スノーシューハイク山行報告

【山行日】2018年 1月 21(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 6,800円

【メンバー】CL:鈴木、岩淵、大西、鶴見、藤原

【コースタイム】岩舟支所P6:00= Gondola山麓駅

8:40/9:10+++山頂駅 9:20/9:40~入笠湿原 10:00~

入笠山山頂 10:50/11:20 ~ マナスル山荘

11:50/12:50 ~ 山頂駅 13:10/13:15 ~ 山麓駅

13:25/13:40=岩舟支所P17:00



去年の長七郎山のスノーシューが楽しかったら

しく、スノーシューを購入した方が増えたので今年はスノーシューハイクを4回計画した。

その第一弾として、入笠山スノーシューハイクを計画した。

入笠山はスキー場のゴンドラを利用し、1800mの高所まで行けるのでスノーシュー入門にうってつけのコースだ。ゴンドラ山頂駅を出ると目の前にドーンとハケ岳が連なる絶景が迎えてくれる。



入笠山への入口でスノーシューを付け、アカノラ山の北側を巻くように緩やかに登って行く。やがて緩やかに下るようになり、林道を横切ると入笠湿原に向かって降りて行く。湿原中央にある大きな案内板の前で写真を撮り、小休止して衣服調整をする。湿原は雪に覆われて雪原になっており、とても眺めが良くて皆「来て良かったね〜」と嬉しそう。ここから山彦荘に登り返し、トイレの先から標識に従って遊歩道に入る。遊歩道には赤のポールと青のポールで分けられ、赤のポ

ールはスノーシュー青のポールはアイゼンやツボ足のコースになっている。樹林帯の中赤のポールに従って登って行き、頂上手前の急斜面を登ると広い入笠山山頂に出る。山頂からはハケ岳をは

じめ南アルプス、中央・北アルプス、富士山など360度の大パノラマが広がり素晴らしい。

皆さん夢中で山を確認し、写真を撮りまくっていた。1時間強の登りでこれだけの展望が得られる山はこの山くらいだろう。若いI 淵さんとT 見さんは大喜びで写真を撮りまくっていたが、

若年寄りの2人は日当たりが良い場所に腰をおろし、コーヒーとケーキでおやつタイムを楽しんでいた。景色を十分楽しみ、コーヒーとおやつをいただいたら下山する。今日のもう一つの楽しみがマナスル山荘のランチで、中でも一番人気のビーフシチューがお目当てで来た。



山頂から来た道を下り、御所平峠からほんの少し進むとマナスル山荘に着く。山荘前ベンチには大勢の登山者がおり、皆さんビーフシチューを食べていた。スノーシューを脱いで、ザックをベンチに置いて山荘の中に入る。中のテーブルでも大勢の登山者がランチを楽しんでおり、我々もオーダーしようとしたら「ビーフシチューは売り切れました」と書いてある。

店の人に聞いたら「休日は山頂に行く前に寄って予約をしないと食べられない」そうです。仕方がない



のでカツカレーやハーフカツカレー、鍋焼きうどんをオーダーした。カツカレーが運ばれてきてビックリ、量がハンパなく大盛りである。ハーフカツカレーが普通のサイズで、普通サイズは女子では食べ切れない程大盛りである。それでも美味しく皆完食する。忘れられていた鍋焼きうどんも、美味しいと言って食べていたが、大きい牛肉が載っていて、とてもハーフサイズではない量だった。山荘前のトイレで用を足し、皆さんはアイゼンの方が楽とアイゼンを付けた。我輩は来週のトレーニングとス

ノーシューを付けて出発する。来た道を戻り入笠湿原を横切って登り返し、ゴンドラ山頂駅に着く。帰りのゴンドラでは温かいおしぼりのサービスがあり、顔や手を拭いてサッパリした。帰りの車の中で「今度は絶対にビーフシチューを予約してから登り、食べたいね」とか「雪の時じゃなく5月頃来て食べれば良いジャン」とかビーフシチューを食べる話で盛り上がっていた。

帰りも中央高速は順調に走り、途中狭山PAに寄って買い物し予定通り岩舟支所に帰着した。

